

<公共交通に関する市民アンケート調査について>

1. 目的

長久手市では、平成21年10月に策定した「地域公共交通総合連携計画」（以下、「連携計画」という。）の計画期間が、今年度で最終年度となるため、これまで取り組んできた連携計画の評価及び検証を行うとともに、連携計画の見直しを行うための基礎データとして、市民の移動ニーズや、公共交通の利用状況、利用意識等を把握することを目的とする。

2. 調査概要

(1) 調査対象者

・市内在住の中学生以上の市民を対象として、4,000人 を無作為抽出

(2) 調査方法と実施時期

- ・郵送配布を行い、返信用封筒を同封して郵送回収
- ・郵送配布は、9月下旬を予定
- ・郵送回収の期限は、10月15日(火)を予定

(3) PR

・市内公共交通のPRを兼ねて、Nーバス、名鉄バス、リニモの各交通事業者の路線図や時刻表のほか、市内公共交通路線全体図やNーバスに関する情報（路線の変遷、利用者数、有料乗車率、収入、運行経費、市負担額の推移など）を簡易にまとめた資料を同封する。

3. アンケート調査票の設問設定の概要

(1) 連携計画の評価のために必要となる指標

- 1) 公共交通利用者数：10%増
- 2) 公共交通の推進度：「進んでいない」の回答が25%未満
- 3) 公共交通転換者：調査段階ごとで増加

(2) 設問設定の考え方

設問の設定にあたっては、連携計画の評価と公共交通に関する市民の移動ニーズの把握のための必要な設問に加え、平成21年度及び23年度に実施した市民アンケート調査結果との経年比較を考慮した設問内容を設定した。

移動ニーズの把握では、Nーバス、名鉄バス、リニモを一体で考える必要性から、それぞれの公共交通機関ごとの利用実態を把握するようにした。移動ニーズについては、今後は隣接市との接続の強化も重要と考え、特に南北方向の周辺市町との移動ニーズを把握するようにした。

また、連携計画の見直しにあたって、公共交通に関する方針、公共交通の利用促進に関する市民参加意識のほか、Nーバスの維持に関する市民意識を把握するようにした。

(3) 設問の視点

設問内容は、下記の視点を考慮して設定した。

- A. 連携計画の評価
- B. 公共交通の利用実態
- C. 周辺市町の移動ニーズ
- D. 公共交通情報の認知状況と効果
- E. 公共交通の方針に対する市民意識
- F. 公共交通の利用意識、意向
- G. 公共交通の利用促進に関する市民参加意識
- H. Nーバスの維持に関する市民意識

(4) 設問設定の概要

設問大項目	視 点	備 考
1. Nーバスの利用について	B. 公共交通の利用実態	
2. 名鉄バスの利用について		
3. リニモの利用について		
4. 周辺市町への外出について	C. 周辺市町の移動ニーズ	
5. 公共交通での外出について	E. 公共交通の利用意識、意向	・市内と周辺市町の公共交通で行けるようになって欲しい場所を把握
6. 普段の公共交通利用について	A. 連携計画の評価	・連携計画の目標のうち、公共交通転換者を把握
7. 公共交通に関する取り組みについて	A. 連携計画の評価 D. 公共交通情報の認知状況と効果	・視点Aでは、連携計画の目標のうち、公共交通の推進度と、連携計画で取り組む事業の満足度と重要度を把握 ・視点Dでは、周知広報活動の効果や情報入手方法を把握
8. 公共交通のあり方などについて	E. 公共交通の方針に対する市民意識 F. 公共交通の利用意識、意向 G. 公共交通の利用促進に関する市民参加意識 H. Nーバスの維持に関する市民意識	・視点Eでは、連携計画の見直しにあたり、方針に対する市民意識を把握 ・視点Fでは、外出時の公共交通の利用意識と利用に対する意識の変化を把握 ・視点Gでは、市民も一緒に取り組むことの賛否の把握 ・視点Hでは、Nーバスに対する行政負担の市民意識を把握
9. あなたご自身について	●属性把握	